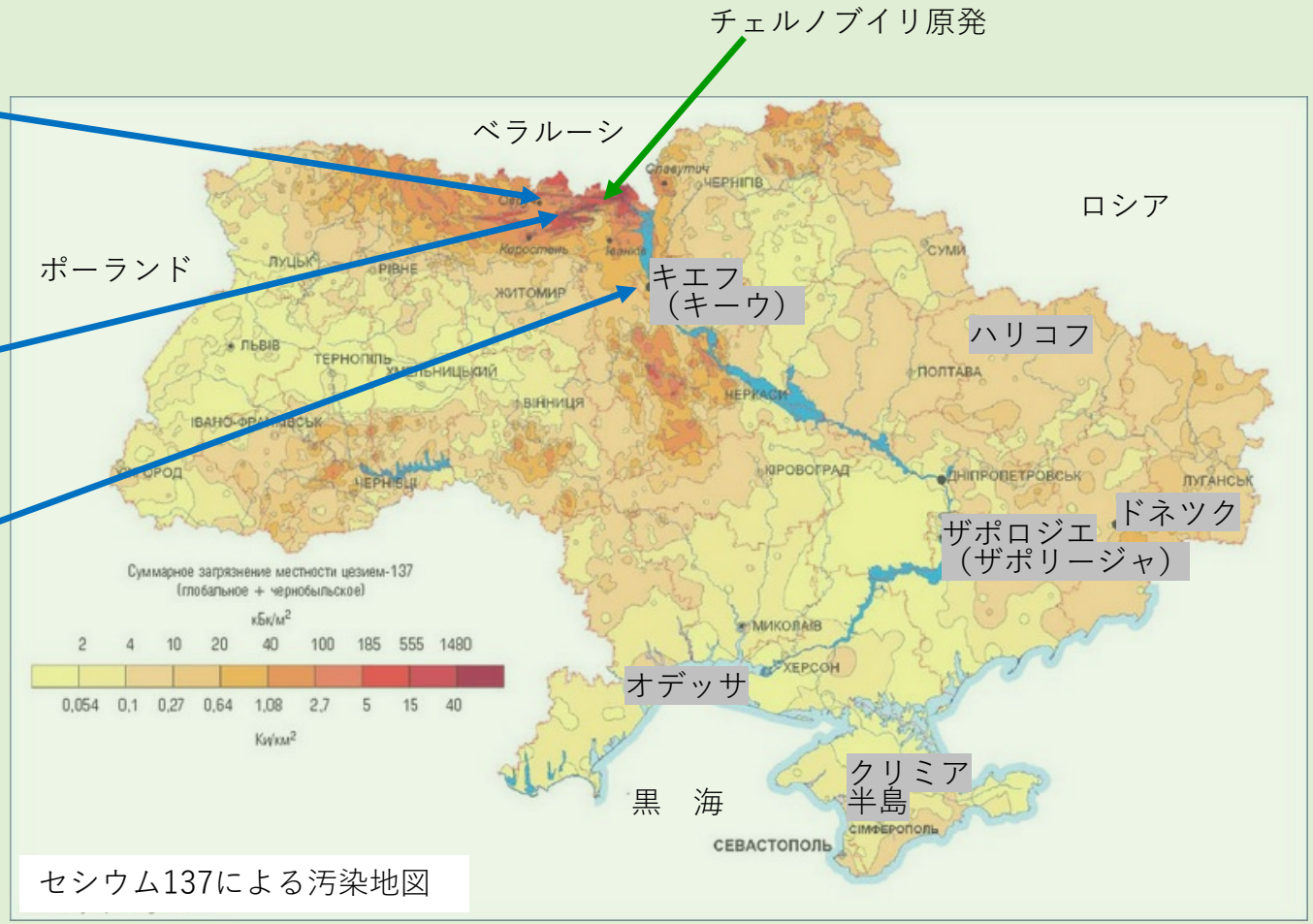
チェルノブイリ子ども基金

病気の子どもをもつ母親たちの呼びかけを受け募金活動を始めたのをきっかけに1991年４月に設立。
これまでに医療機器、医薬品、ミルク、教材、放射線検知器のほか、救援物資数十トンを被災地に送っている。
1996年7月から毎年、ベラルーシとウクライナのチェルノブイリ事故被災地の病気の子どもたちのための保養プロジェクトを行っている。

ウクライナへの緊急支援

- オヴルチ市立病院
（医薬品、医療機器）
- オヴルチ子ども芸術アカデミー（クリスマスプレゼント、ノートパソコン）
- ナロジチ公立
初期医療ヘルスケセンター
（医療機器）
- 内分泌研究所（医薬品）



セシウム137による汚染地図

- NGO「チェルノブイリの子どもたちの生存」

ウクライナの子どもたちの保養
ジトーミル州ナロジチ地区・オブルチ地区に暮らす様々な病気の子どもたち
ウクライナ・リヴィウ州　2023年７月11日～22日

朝の体操、山への遠足、各種スポーツ、ゲーム大会など
子どもたちのための専門プログラムが毎日組まれている

ウクライナ・リヴィウ州
カルパチア山中にある子ども保養施設「ショコラード」
2023年７月11日～22日

ALONE

LOVE
FILA

ベラルーシ子ども健康回復センター「ナデジダ（希望）」
チェルノブイリ事故被害者家族のための保養
2023年７月20日～８月2日

「内分泌代謝研究所　放射線診断・治療部門」

甲状腺がんの手術を受けた患者への医薬品支援

ヴィクトリヤさん
（1983年生まれ）
38歳で手術を受けた。

パーヴェルさん（1983年生まれ）
13歳で手術を受けた。

2022年8月

ユリヤさん（1993年生まれ）
24歳で手術を受けた。

ユリヤさん（1996年生まれ）
14歳で手術を受けた。

2023年5月

◆日本の里親による支援◆

一人の病気の子どもを、日本の里親が経済的に支える。
1998年の開始から、これまでにウクライナとベラルーシの340人の子どもが支援を受けた。
現在は50人の子どもが支援を受けている。

ヴラッド（12歳）

アレクサンドラ（15歳）

ソフィヤ（10歳）

サーシャ（5歳）